病院の安全を守るために

医療安全管理室 室長　岩﨑 浩司

病院内の事故でなくなる方は年間約１０万人。何らかの傷害を負った方は年間約３０万人。一方、交通事故死者数は年間約４万人。これはアメリカの統計です。

わが国の数字はわかりませんが、米国の先進性を考えれば、同じか、もしかしたらもっと多いかもしれません。”病気や怪我を治してもらおう”と思って入院した病院は”道路よりも危険だった!?”　ということになりかねません。”病院は安心を売るところ”ともいわれているのに、このままでは患者様から”信用”して頂けません。

安心をもたらす要素のなかで、最も大切なものは安全性です。一口に安全の確保といっても、その方法はさまざまです。あえて大きく分けると、一人ひとりのスタッフが知識や技術を高めることと、組織としてミスをカバーしあう仕組みをつくることです。両者とも同様に大切ですが、教育の効果はすぐには出ません。どうしても後者の仕組みをつくることが必要になります。

そこで私達は、他の病院の例を参考にして、院内で起きた事例をたくさん集めるオンラインシステム作りから始めました。その際、簡便化、匿名性、を優先し、入力に対する心理的な敷居を低くするように工夫しました。導入後、事故には至らずに“ヒヤリ･ハット”した事例の報告が増え、更に、発生から１週間以内に事例を検討することも可能となりました。

次は原因分析です。必ず検証をすべき重大な事故の発生は幸いにも少なく、報告のほとんどはその手前か、非常に軽微なものです。しかし、軽いからと言っていい加減には扱えません。過去の情報の集積や経験知から、重大な事故につながる芽をもっている事例には解析を加えます。まず、毎週金曜日の検討会で、分析すべき事例を挙げて一次情報を収集します。その上で、しかるべき部署や委員会に、詳細な原因分析と再発予防策をたててもらうよう依頼します。一律な期限はありませんが、できるだけ一ヶ月以内に各結論を検証するよう努めています。最終的には、毎月の医療安全管理委員会および管理会議に諮り、ルールやマニュアルとして機能させるよう各職場に通達します。これらの一連の流れが途中で滞ったり、忘れられたりしないように、すべて文書を用いて連絡され、保存されます。

こうしてたてた対応策を該当する職員に知らせ、実施します。起きた事例が再発する場合や、事故の手前で未然に防ぐことが出来た事例の報告が減らないときは、同じ手続きを繰り返し、さらに“カイゼン”を加えることも必要になります。長期的には、これらを繰り返し、細かな網の目を張りめぐらせつつ、ひとつひとつを磨きあげることが肝心だと考えています。そのためには、できるだけ多くの職員に関わってもらわなければ目的を遂げられません。しかし、正直に申し上げて、この部分は未だ発展途上と言わざるを得ません。今後いくつもの工夫を重ねなければならないでしょう。

歩むべき道は遠く彼方まで続きますが、医療安全管理室はじめ職員一同は、これらの活動を一歩一歩地道に続けることで、少しでも皆様のお役に立ちたいと願っています。

芙蓉協会の歴史
『芙蓉病院（1950～1956）』

W．H．ダンフォース氏の資金援助を受け、許可病床25床、内科・産婦人科を主とした芙蓉病院は、1950年7月4日故高松宮殿下、同妃殿下のご臨席を仰ぎ開院式を行った。その後1953年には外科、泌尿器科、皮膚科を新設し、許可病床も47床、さらに64床へと増床し、地域の中で発展していった。

しかし田子政子理事長も病院経営の経験などなく、経営は厳しくなり、須田院長も老齢には勝てず、1955年には隠居、後進に道を譲ることとなった。1956年には運転資金が枯渇し、経営危機となった。

（次回は、『緑町病院』を掲載いたします。）

文責:法人本部事務局　事業企画室　笠原典彦

故高松宮殿下・同妃殿下ご臨席の開院式 昭和25年（1950年7月4日）

芙蓉病院 昭和28年（1953年頃）

芙蓉病院 昭和25年（1950年頃）

芙蓉病院 医師・
昭和30年（1955年

創立60周年記念
市民公開講座を開催します。

創立６０周年の本年は、市民公開講座を１０月と１２月に開催します。

第１回 市民公開講座（10月9日開催）は、西澤 理 教授(信州大学 泌尿器科学講座)を講師に、金山 尚裕 教授(浜松医科大学 産婦人科学講座)を座長にお招きして、「骨盤臓器脱のアウトライン疾患について（仮称）」を行います。
「残尿感がある」「出血などで以前より下着が汚れるようになった」とか「歩いているときに違和感がある」・・・これらの症状がある場合は「骨盤臓器脱（子宮脱・子宮下垂など）」も疑う必要がありそうです。今回は、こんな女性の疾患についてのお話しです。

日時　平成22年10月9日(土)
開場12：30　開演13：00

場所　沼津市立図書館　4階　視聴覚ホール
(公共交通機関をご利用下さい)
参加無料（予約の必要はありません。）

主催　財団法人 芙蓉協会　聖隷沼津病院

後援　沼津市、沼津市教育委員会、沼津市医師会、静岡新聞社・静岡放送

第2回　市民公開講座(12月12日開催)は、「女性のがん キチンと知りましょう」というテーマで、浜中　和子院長(浜中皮ふ科クリニック)をお招きして行います。

本年12月１日より、
「病院敷地内全面禁煙」
となります。
皆様のご理解、ご協力をお願いします。